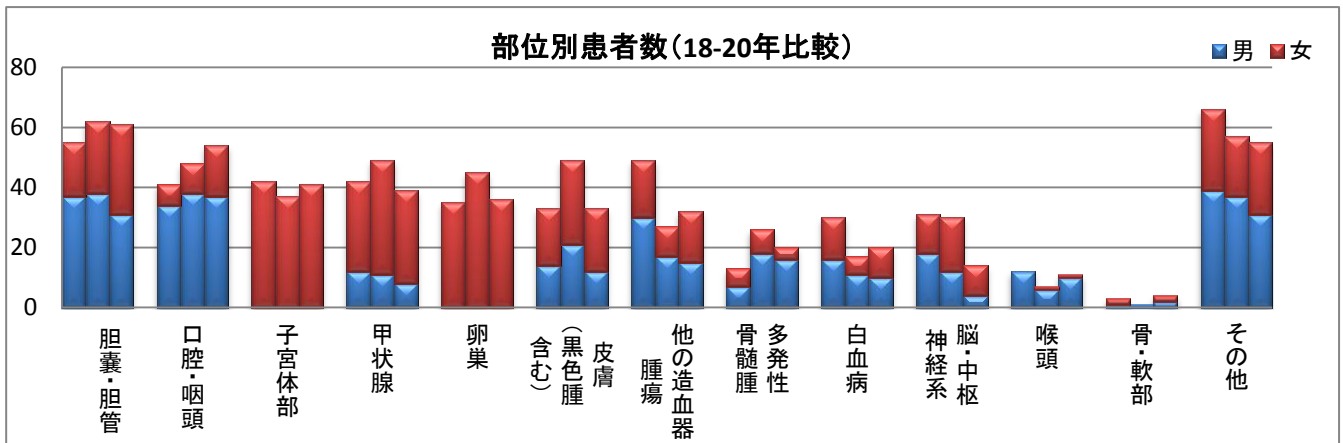
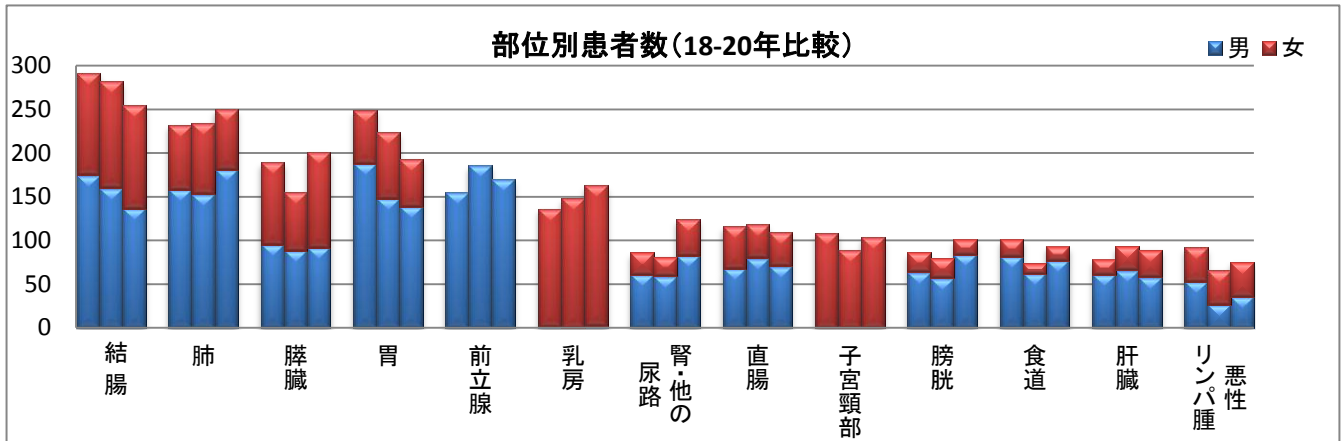


I. 2020年集計 <全部位>



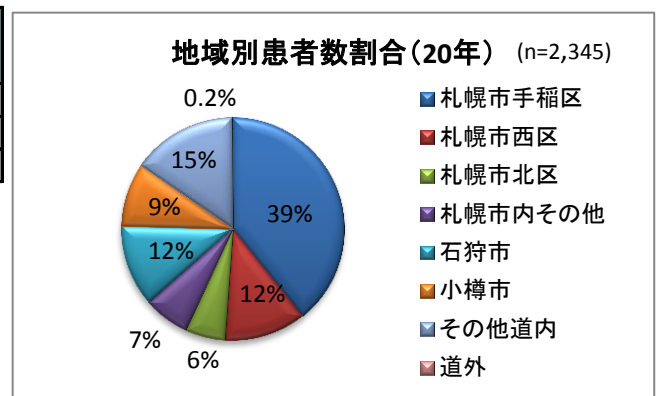
	結腸	肺	膵臓	胃	前立腺	乳房	腎・他の尿路	直腸	子宮頸部	膀胱	食道	肝臓	悪性リンパ腫	胆嚢・胆管	口腔・咽頭	子宮体部	甲状腺	卵巣	皮膚(黒色腫含む)	他の造血器腫瘍	多発性骨髄腫	白血病	脳・中枢神経系	喉頭	骨・軟部	その他	総計
18年	292	232	189	249	155	136	86	116	108	86	101	78	92	55	41	42	42	35	33	49	13	30	31	12	3	66	2372
19年	282	234	155	224	186	148	81	118	89	79	74	93	66	62	48	37	49	45	49	27	26	17	30	7	1	57	2284
20年	254	250	201	193	170	163	124	109	103	101	93	89	75	61	54	41	39	36	33	32	20	20	14	11	4	55	2345

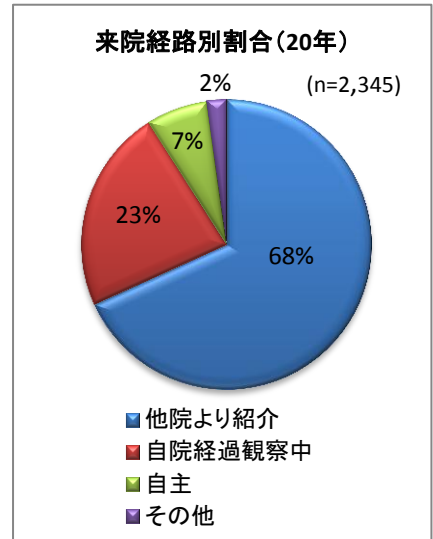
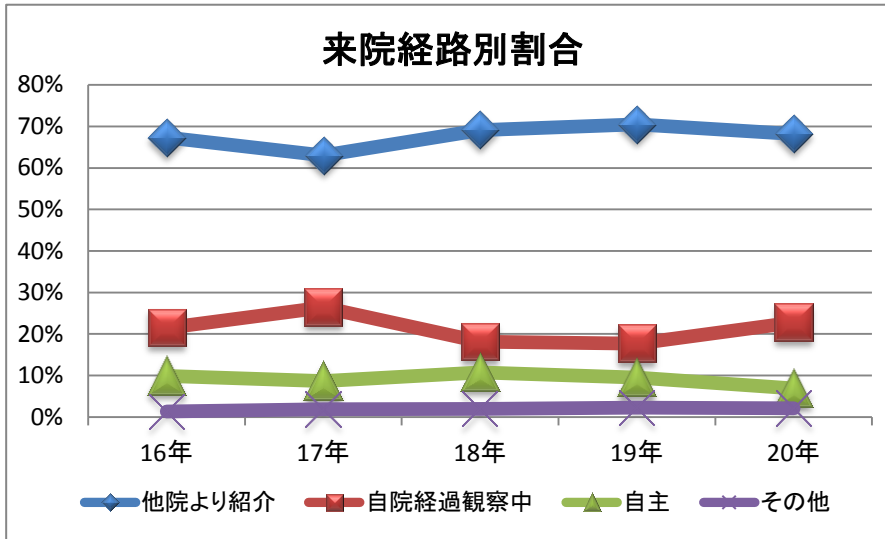
全体の比較では「肺」と「乳房」と「口腔・咽頭」の患者数が年々増加している。

地域別患者件数

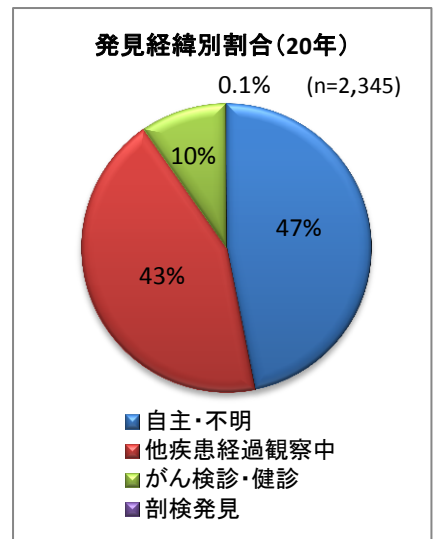
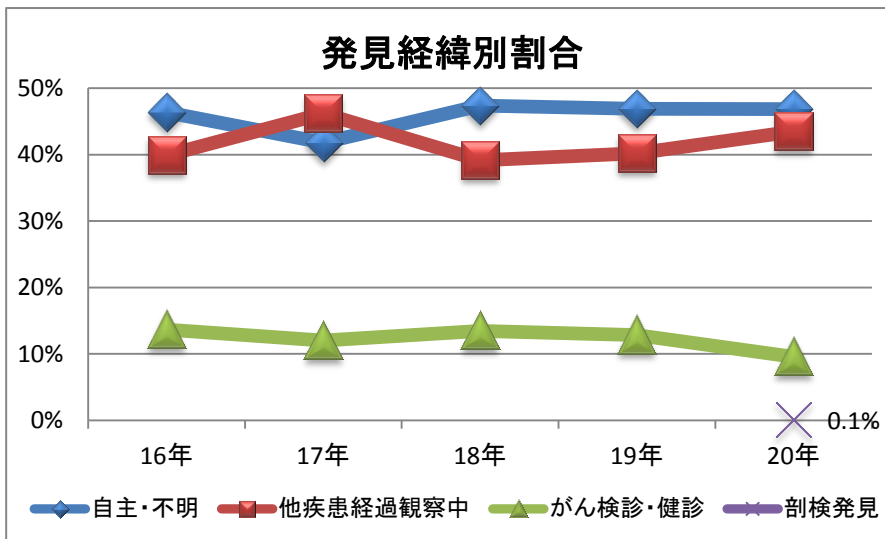
	札幌市手稲区	札幌市西区	札幌市北区	札幌市内その他	石狩市	小樽市	その他道内	道外
18年	956	246	133	141	247	249	397	3
19年	913	250	156	129	266	192	370	8
20年	920	279	135	157	278	216	356	4

診断時の患者居住地をもとにした地域別患者数では、「西区」と「石狩市」の患者数が年々増加している。20年単年の割合では、札幌市内が6割を占めており、市内からの受診が多くみられる。

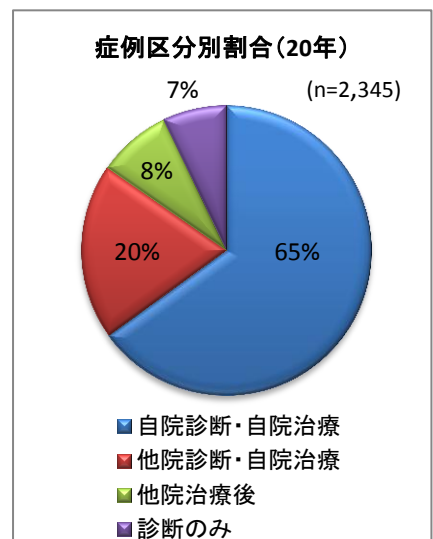
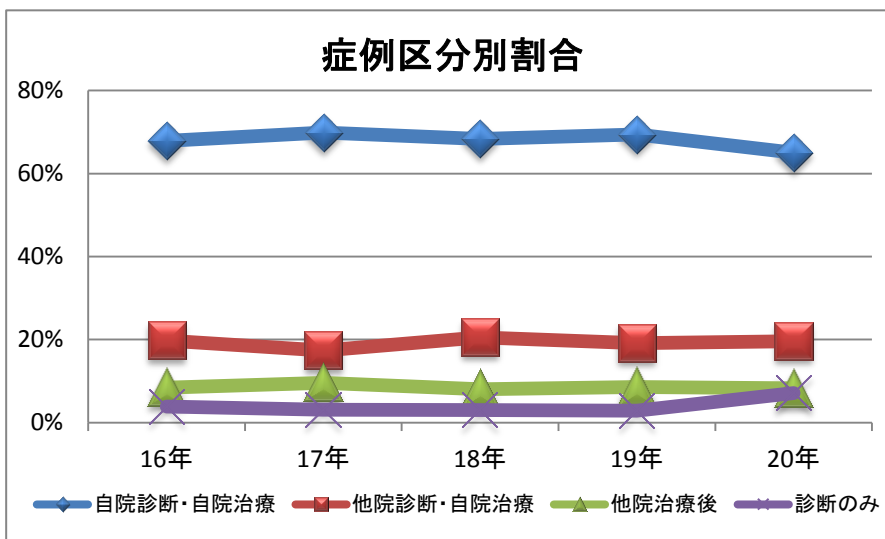




「自院経過観察中」の割合が前年より増加しているが、「他院より紹介」の割合が約7割を占めている。



「他疾患経過観察中」の割合が前年より増加しており、「自主・不明」に次いで約4割を占めている。



「診断のみ」の割合が前年より増加しているが、「自院診断・自院治療」の割合が約7割を占めている。